

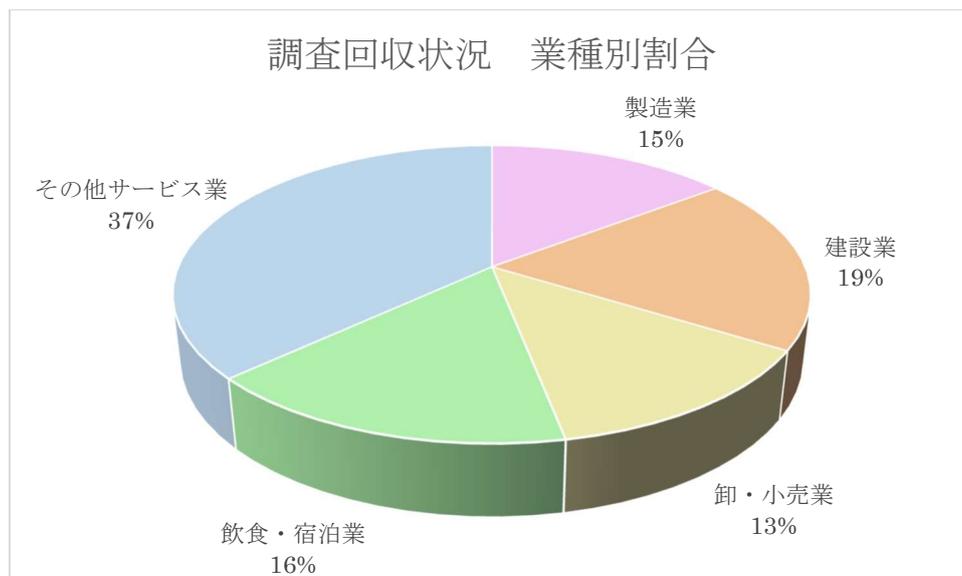
## 千歳市景気動向調査結果

調査期間：2025年10～12月の実績と2026年1～3月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査対象：千歳商工会議所会員及び特定商工業者

回収状況：130社



### DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2025年7～9月）と比較した今期（2025年10～12月）の実績及び、今期（2025年10～12月）と比較した来期（2026年1～3月）の予測、今期（2025年10～12月）と前年同期の比較を掲載しています。

## 《 全体の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】			来期予測 (1～3月)	
業況	▲0.7	→	▲5.4	【2.8】	↓	▲16.9	
売上	3.5	→	3.1	【15.4】	↓	▲12.3	
採算	▲6.9	↓	▲15.4	【▲9.1】	↓	▲25.4	
原材料	▲63.9	→	▲60.8	【▲71.3】	→	▲59.2	
資金繰り	▲2.8	↓	▲8.5	【▲4.2】	↓	▲15.4	
労働時間	4.2	↓	▲0.8	【▲2.8】	→	▲2.3	
雇用状況	25.0	→	25.4	【28.7】	→	24.6	

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

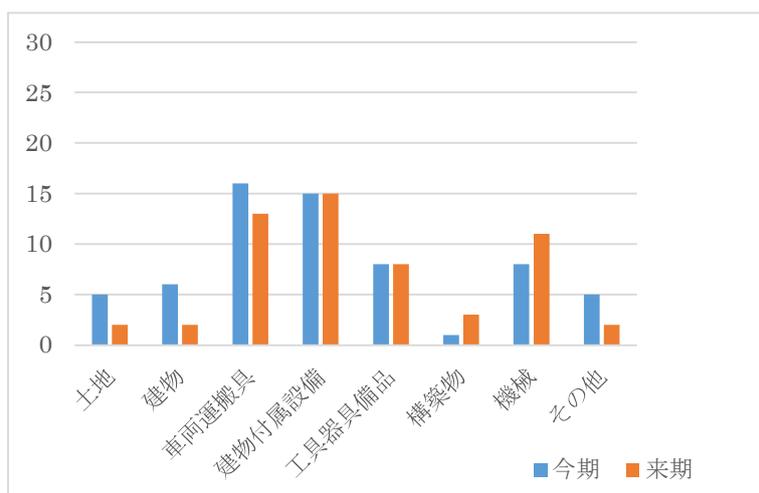
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は38.2%

今期(10～12月)設備投資をした企業は36.2%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は39.2%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 製造業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	▲16.0	↑	▲5.3 【11.8】	→	▲5.3
売上	▲12.0	→	▲15.8 【29.4】	↑	0.0
採算	▲16.0	↑	▲10.5 【17.6】	↑	▲5.3
原材料	▲60.0	↓	▲73.7 【▲70.6】	↑	▲57.9
資金繰り	▲8.0	→	▲10.5 【17.6】	↑	▲5.3
労働時間	4.0	↓	▲21.1 【23.5】	↑	▲15.8
雇用状況	16.0	↑	21.1 【29.4】	→	21.1

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

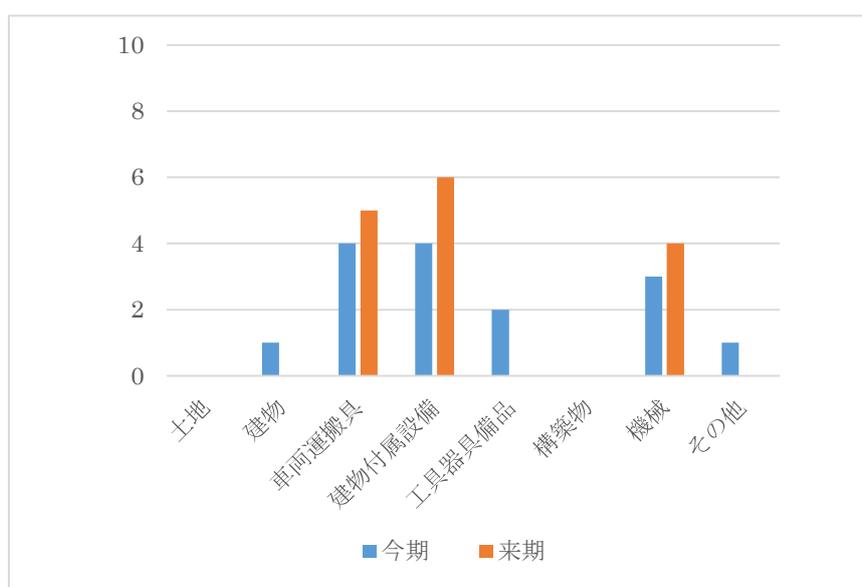
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は68.0%

今期(10～12月)設備投資をした企業は47.4%

来期(10～12月)設備投資を計画している企業は68.4%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 建設業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	▲8.3	↑	4.0 【2.8】	↓	▲16.0
売上	▲5.6	↑	12.0 【16.7】	↓	▲20.0
採算	▲19.4	↑	▲8.0 【0.0】	↓	▲24.0
原材料	▲63.9	→	▲68.0 【▲69.4】	→	▲68.0
資金繰り	▲13.9	↑	▲8.0 【2.8】	↓	▲20.0
労働時間	11.1	↓	4.0 【▲13.9】	↓	▲4.0
雇用状況	38.9	↑	52.0 【41.7】	→	48.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

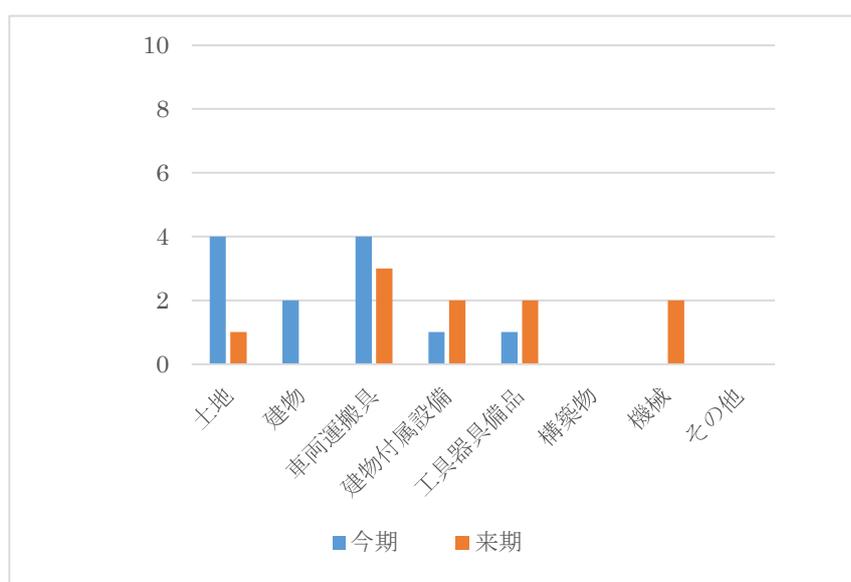
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は27.8%

今期(10～12月)設備投資をした企業は36.0%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は40.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 卸・小売業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	▲3.7	↓	▲35.3 【28.6】	↑	▲17.6
売上	0.0	↓	▲41.2 【42.9】	↑	▲11.8
採算	▲11.1	↓	▲41.2 【21.4】	↑	▲23.5
原材料	▲77.8	↑	▲70.6 【▲64.3】	→	▲70.6
資金繰り	▲7.4	↓	▲35.3 【▲7.1】	→	▲35.3
労働時間	14.8	↓	5.9 【14.3】	↑	11.8
雇用状況	18.5	↓	11.8 【21.4】	↓	5.9

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

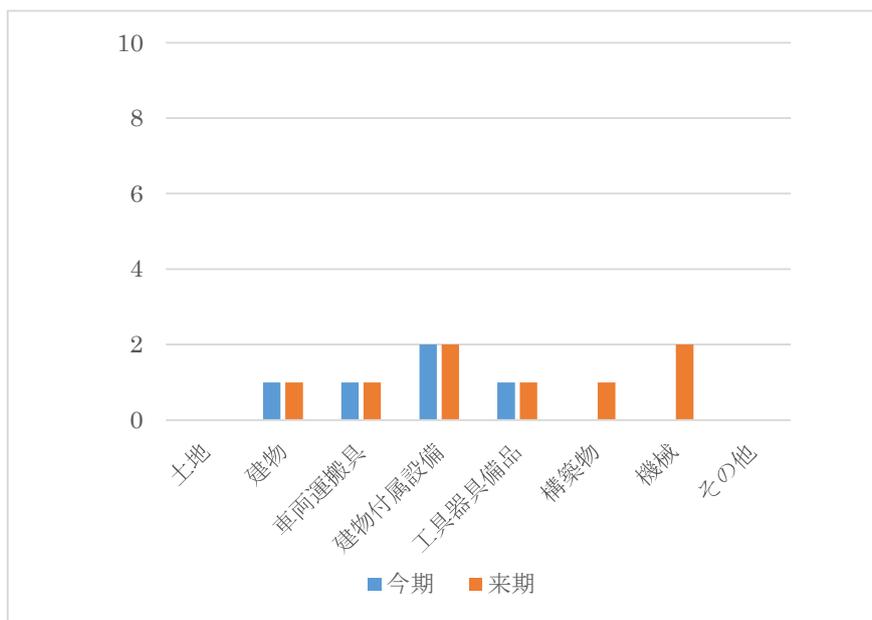
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は25.9%

今期(10～12月)設備投資をした企業は23.5%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は35.3%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 飲食・宿泊業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	0.0	→	0.0 【▲11.5】	↓	▲23.8
売上	15.4	↑	23.8 【 7.7】	↓	4.8
採算	▲7.7	↓	▲23.8 【▲46.2】	↓	▲42.9
原材料	▲84.6	↓	▲100.0 【▲96.2】	→	▲95.2
資金繰り	15.4	↓	▲4.8 【 0.0】	↓	▲23.8
労働時間	▲15.4	↑	4.8 【▲6.0】	→	0.0
雇用状況	15.4	↑	23.8 【 24.0】	↑	33.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

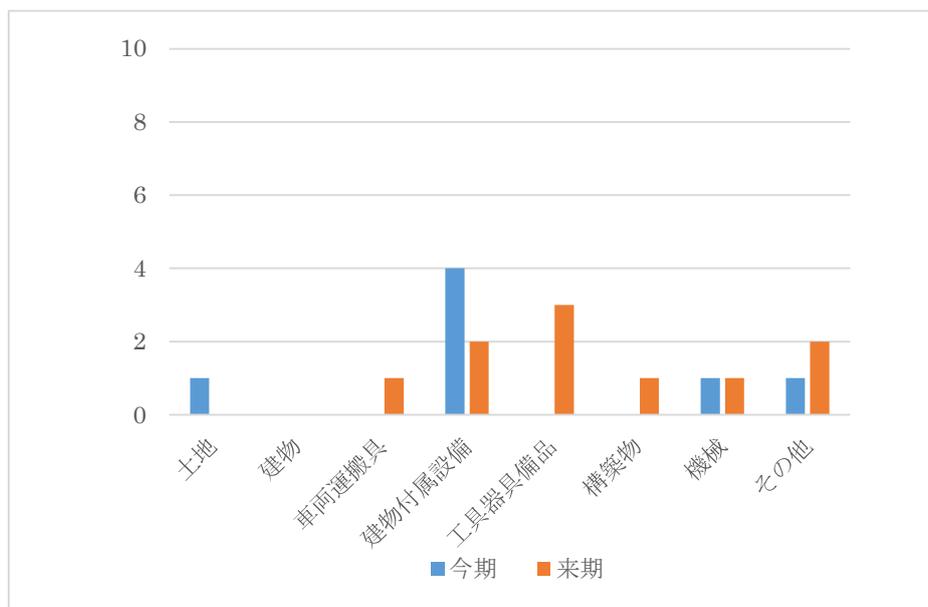
### 【設備投資調査】

前期（7～9月）設備投資をした企業は23.1%

今期（10～12月）設備投資をした企業は28.6%

来期（1～3月）設備投資を計画している企業は42.9%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	16.3	↓	▲2.1 【0.0】	↓	▲18.8
売上	18.6	↓	0.0 【6.0】	↓	▲20.8
採算	11.6	↓	▲8.3 【▲14.0】	↓	▲27.1
原材料	▲51.2	↑	▲31.3 【▲62.0】	→	▲35.4
資金繰り	7.0	→	7.0 【0.0】	→	4.7
労働時間	▲2.3	→	0.0 【▲6.0】	→	▲2.1
雇用状況	25.6	↓	18.8 【24.0】	→	16.7

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

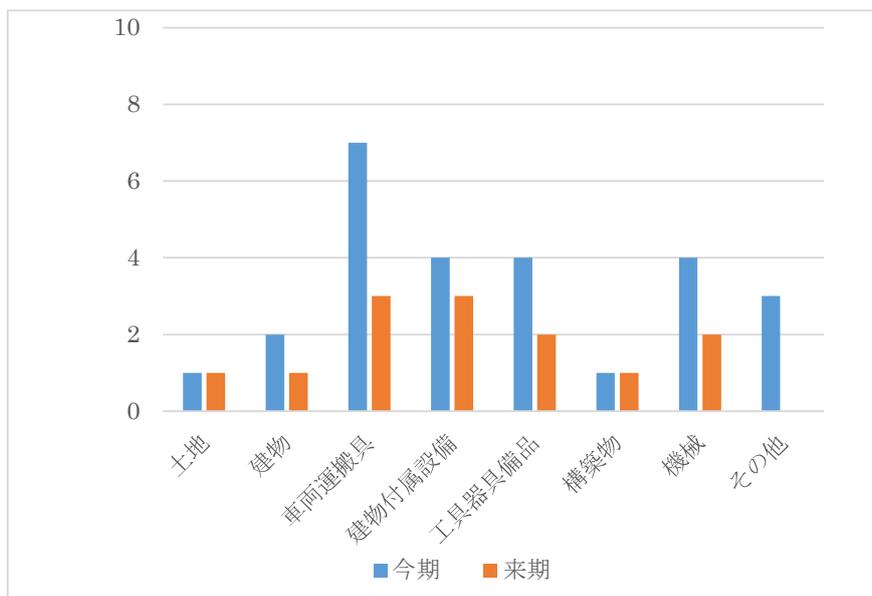
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は41.9%

今期(10～12月)設備投資をした企業は39.6%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は27.1%

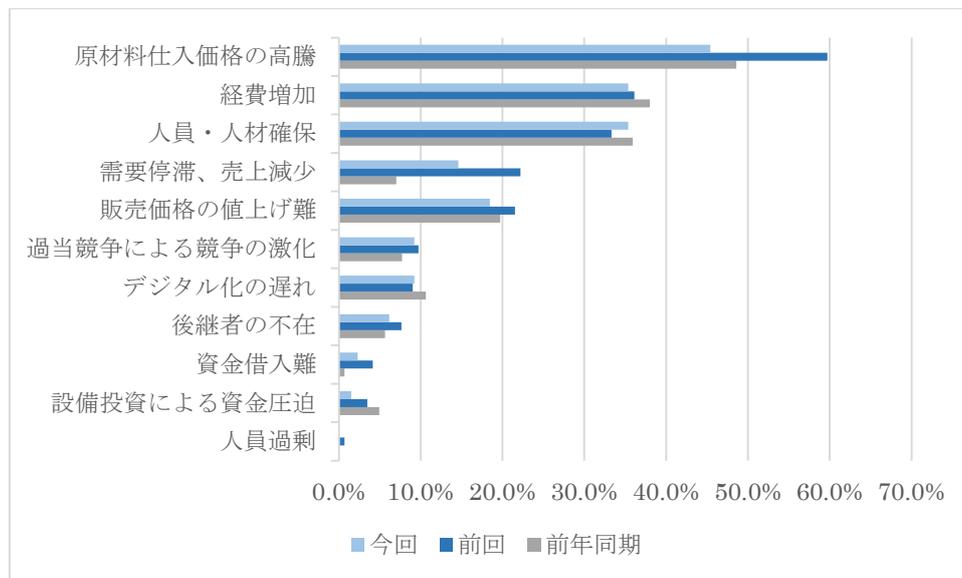
設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査で、経営上直面している問題点で多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（45.4%）』、次に、『経費増加（35.4%）』『人員・人材確保（35.4%）』が多い結果となりました。

前期と比較すると、『原材料仕入価格の高騰』は14.3ポイント低下、『経費増加』は0.7ポイント低下、『人員・人材確保』は2.1ポイント増加となっています。



## 《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	人員・人材確保	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保
2位	原材料仕入価格高騰 経費増加	原材料仕入価格高騰	経費増加	販売価格の値上げ難	経費増加
3位	販売価格の値上げ難	経費増加 デジタル化の遅れ	販売価格の値上げ難 需要停滞、売上減少	経費増加	原材料仕入価格高騰

## 《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

<p>対象事業者</p> <p style="text-align: center;">市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、 新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者</p>
--

### 景気動向

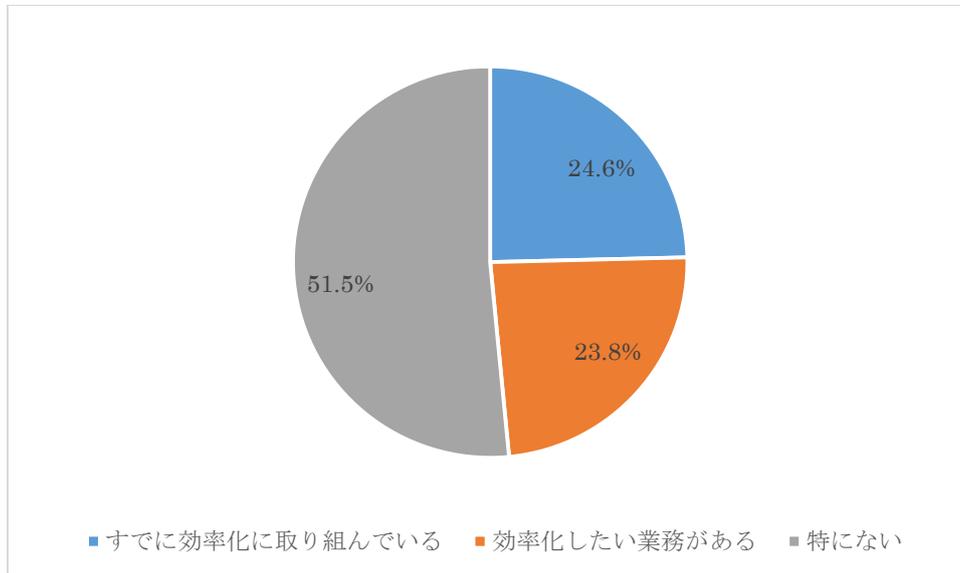
主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	27.3	↓	14.3 【4.0】	↓	▲14.3
売上	18.2	↑	42.9 【40.0】	↓	14.3
採算	▲27.3	↑	▲14.3 【▲8.0】	↓	▲42.9
原材料	▲63.6	↓	▲100.0 【▲96.0】	→	▲100.0
資金繰り	9.1	↓	0.0 【▲16.0】	↓	▲14.3
労働時間	63.6	↓	0.0 【12.0】	↓	▲14.3
雇用状況	27.3	↓	▲28.6 【▲36.0】	→	▲28.6

表中の矢印 . . . . . 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

## 《 業務効率化について 》

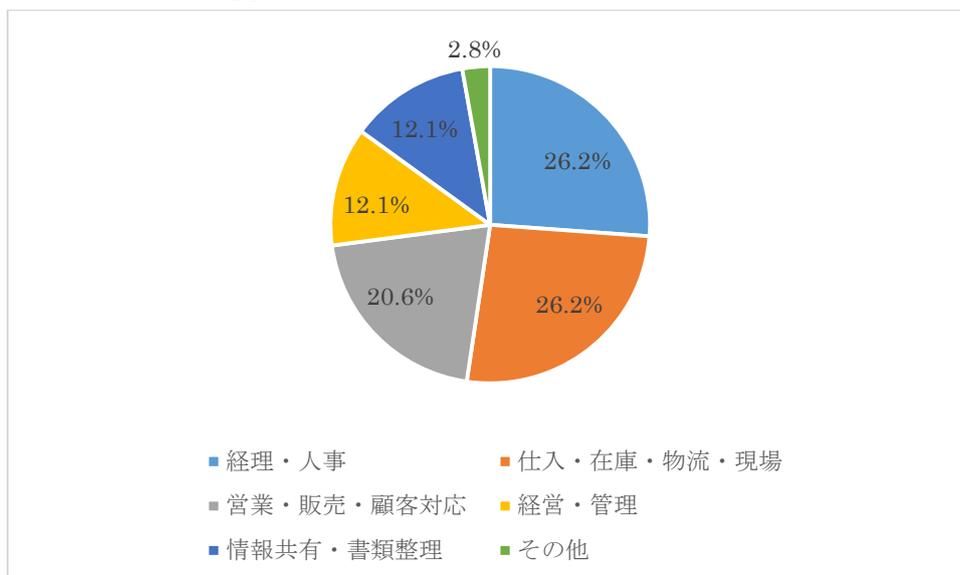
業務効率化をしたい業務の有無を問う質問に対し

「すでに効率化に取り組んでいる」が24.6%、「効率化したい業務がある」が23.8%、「特  
にない」が51.5%でした。



効率化したい業務内容についての調査結果は以下の通りです。

「経理・人事」、「仕入・在庫・物流・現場」が同率26.2%と最も多く、  
次に「営業・販売・顧客対応」が20.6%でした。



## 《 企業の声 》

今回の調査においても、多くの会員事業者から現在の経営状況や課題、並びに商工会議所に期待する支援について、さまざまな声が寄せられました。

最も多かったのは「人手不足」に関する意見であり、約4割の事業者が人員確保を課題としており、その影響は依然として大きいものとなっています。若年層の採用難や専門人材の確保の困難さ、従業員の高齢化による世代交代の遅れなど、深刻な状況が広く共有されました。

経営環境については、最も大きな影響を与えている要因は「原材料・仕入価格の高騰」です。回答企業の56.2%が最大の懸念事項として挙げており、これに電気・ガス代等の諸経費の増加が重なり、経営を圧迫しています。特に、「売上は維持・増加しているものの、コスト増を販売価格へ十分に転嫁できず、採算が悪化している」いわゆる“増収減益”の状況にある事業者の声が目立ちました。

また、今回は「業務効率化」についても調査しました。その結果、業務効率化を進めたいと考えているものの、約2割の企業が実際には取り組めていないことが確認されました。効率化を図りたい業務としては、「経理・人事」および「仕入・在庫・物流・現場」がいずれも26.2%と多く、日常かつ継続的に発生する業務において負担の大きさがうかがえます。これらの分野は定型業務や手作業が多い傾向にあり、デジタル化や業務プロセスの見直しを進めることで、負担軽減や生産性向上につながる可能性があります。

人手不足が深刻化する中においては、業務効率化の推進も重要な対応策の一つであり、課題解決に向けた有効な手段となることが期待されます。

今後も商工会議所として、これらの課題に対応した支援と情報提供に努めてまいります。最新の支援情報やセミナーのご案内は、LINE・ホームページ・会報誌を通じて随時発信しておりますので、ぜひご活用ください。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和8年4月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。